プロフィール

川村康文（かわむら　やすふみ）：東京理科大学理学部第一部物理学科教授，1959年，京都市生まれ。博士（エネルギー科学，京都大学）。歌う大学教授（環境保護ソング，世界平和を祈る歌など、ホームページで無料配信中、<http://www2.hamajima.co.jp/~elegance/kawamura/song.html>）。

2011年3月11日の東日本大震災を受けて**“つながる思いプロジェクト”**を立ち上げ，震災復興応援の科学実験教室など出前行っている。講演では，作詞・作曲した「つながる思い」を必ず歌を歌う。

NHKＥテレ・ベーシックサイエンスの監修および出演。Ｅテレテストの花道・ニューベンの理科実験の監修。

専門は物理教育・サイエンス・コミュニケーション。高校物理教師を約20年間務めた後，信州大学教育学部助教授，東京理科大学理学部第一部物理学科助教授・准教授を経て2008年4月より現職。

慣性力実験器Ⅱで平成11年度全日本教職員発明展内閣総理大臣賞受賞(1999)，平成20年度文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）をはじめ、科学技術の発明が多く賞も多数受賞。論文多数。著書は，「基礎物理学　上・下」（ソフトバンク），「独創性を育てる理科教育論」（講談社），「たのしく学べる理科の実験・工作」（エネルギーフォーラム）など多数。